

教育目標・学習成果の合意をいかに形成するか ーテスト問題作成を通じた取組ー

深堀 聡子 氏 (国立教育政策研究所高等教育研究部 総括研究官)

講演概要

教育目標に適合的な教育課程を設計・実践することが重要であることは、教育段階を問わず論を俟たない。大学教育においても同様であり、教育課程の体系化を実現する前提として、教育目標や達成すべき学習成果の明確化が求められている。しかしながら、学問分野と大学組織の自律性と多様性が尊重されてきた大学では、何を教育目標とするのかについての合意を形成すること自体が、学問分野としても学内組織としても容易ではない。

本講演では、工学分野でのテスト問題バンクの取組を取り上げる。これは、国内外の大学教員が集い、テスト問題や採点基準を共同で作成して共有することを通じて、教育目標や達成すべき学習成果に関する意見を調整して合意を形成することを目指すものであり、通常とは逆のプロセスをとる。この取組が、大学教育に与える効果や今後の課題について検討する。

2015年7月9日(木) 16:30-18:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館 5階 アクティブラーニングスタジオ

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696

ご参加いただける方は、事前に上記メールアドレスまでご一報いただくと助かります。
会場準備の都合によるものですので、必須ではありません。